

Governor's

ガバナー月信 *Monthly Letter*

2010.9.1

vol. 3



国際ロータリー第2690地区 (鳥取・島根・岡山)



撮影/小林和義 会員 インターアクト地区大会 会場からの風景

CONTENTS

【印刷物】

- 2 ガバナーメッセージ
- 3~5 ガバナー公式訪問だより
- 5 第1回諮問委員会報告
- 6・7 地区だより ① 新入会員ご紹介
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
ポリオ・プラスへの寄付
米山功労者
訃報
- 7 2010-2011年度 RI第2690地区
地区資金予算
- 8 出席報告

続きはホームページから
PDF ファイル版をダウンロードできます。

【PDF】版のダウンロードはこちらから

http://www.rid2690.org/index.cgi?c=month_letter-1

- 9 地区だより ② クラブ寄付・個人寄付
- 10 インターアクト地区大会報告
- 11~14 会長エレクト研修セミナー (PETS) 報告
- 15 RI年次大会に参加して

国際ロータリー第2690地区 地区大会 RI 会長代理 小沢 一彦氏に決定!



小沢 一彦氏
おざわ かずひこ

1937年10月23日生
横須賀ロータリークラブ所属
日本水産観光株式会社 代表取締役

【ロータリー歴】

1978年2月 横須賀ロータリークラブ入会
2000-01年度 第2780地区ガバナー
2007-09年度 RI理事
2010-14年度 ロータリー財団管理委員
MPHF/ベネファクター/大口寄付(レベル3)
R財団遺贈寄付友の会会員
ポール・ハリス・ソサエティー/米山功労者
米山特別功労法人(日本水産観光株式会社)



2010-2011年度 国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

2010-2011年度 ガバナー
小林 完治

ガバナーメッセージ



ガバナー
小林 完治

「新世代奉仕」が全員の必須課題に!!

例年にもまして残暑が厳しい毎日ですが、皆様には如何おすごしでしょうか。公式訪問では各クラブとも誠意をもって、積極的に対応していただき感激いたしております。ありがとうございます。

さて、9月は「新世代のための月間」です。今年度のRI規定審議会で「新世代奉仕」が大きく変わり「奉仕の第五部門」に格上げされました。1927年以来、「青少年」は社会奉仕の一分野とされて来ました。近年、世代間ギャップが拡大し青少年問題が深刻化してきたため、国際ロータリーとして「新世代奉仕」を重視し、他の四大奉仕と同格と考え、今後五大奉仕として、ロータリアン全員が日常活動で実践すべき必須課題とすることになったのです。

採択規定案 (10 - 87)

5. 奉仕の第五部門である新世代奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。(2010年規定審議会)

国際ロータリーの新世代プログラムには「インターアクト」「ローターアクト」「ライラ(RYLA)」「青少年交換」などがあり1962年からのプログラムで、青少年の健全育成、年齢間ギャップの解消、ロータリーの広報活動などに一定の効果を挙げてきました。しかし現状では、「未来を担う新世代の問題」は世界に共通した根深い大きな問題となってきました。この度「新世代」は、30才～ゼロ歳と対象年齢が拡大されました。国際ロータリーとしては新世代の人達の年齢層を対象に向き合い、奉仕活動として本格的に取り組むことになりました。

約20年前、神奈川の小学5年男児が「もう、この世の中には未練はない」「悩みを受け止めて貰えず、夢

を壊された」ことを書き残して、自らの命を絶ったことが報道されました。私はこのことを聞いた時、「いのち」を支える医師の1人として、「私達大人社会への絶縁状」の様に思われ、その意味を深く受け止め悩んだことを思い出します。

近代文明は豊かで便利となり、高度な情報社会を実現しました。反面、20年前と比較して人間関係は複雑化し不安定で、不安が増し、社会の病態は重篤化しています。社会病理の根源は深く、その道の専門家、心理学者、行政などの懸命の努力によっても解決の目途さえ立っていません。

2009年11月第38回ロータリー研究会(東京)での杉田峰康:日本交流分析学会理事長による『最近の若者の心の叫び』と題した講演は、「新世代奉仕」プログラムを発展させる上で重要な示唆に富んだものでした。(同報告書P52-73)。例えば若者の親世代に対する怒りの背後に、心の痛みと不信感があると言われます。交流分析では新世代の人達からロータリアンが学ぶことが多いとも考えさせられました。言葉で表現出来ない「若者の心の叫び」があることを知るため、是非一読されることをおすすめします。

「新世代奉仕」は地域の未来を考える上で最重要課題と考えられます。パイロット地区として、クラブにも「RIの新長期計画」に従ってそれぞれの「ビジョンの策定」をおすすめしています。それぞれの土地柄、歴史、伝統などの特徴を踏まえて、新世代の人達が「より働きよく、より暮らしよい」「豊かで、便利で安心出来る」成熟した社会を目指して、夢を実現できるよう、ロータリアンのリーダーシップを期待しています。ロータリークラブには『地域を育み、大陸をつなぐ』リーダーとしての人材と叡智は十分に備わっていると考えますから。

Let's join! すずんで参加しよう。

ガバナー公式訪問だより

7/8 木

松江東ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・前島智征随員幹事



葛尾直前ガバナーのお膝元クラブとして、総力を挙げてガバナー年度のご重責を全うされました。会長・幹事懇談会でも、パワフルで風格あるクラブの印象がつよく、尊敬の念を深くしました。

「地域に認知される活動」を重視。その一環として松江4RCのコラボ事業『水辺の教室』活動に熱心に取組んでおられます。

異色の催しとしては、「第14回全日本RC親

睦合唱祭」の開催と、会員夫人による家族会・合同例会等における合唱の披露が挙げられます。「自由闊達なクラブ」を希求する《創立の精神》が今も息づいているあかしでしょうか。

出席率の極めて良好なクラブですが、退会者の増加で「会員増強」が課題となっており、青・壮年世代の充実を重点指向したいとのお考えを伺いました。

7/9 金

出雲中央ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・前島智征随員幹事



「人を思いやる」をテーマに親睦を重視するという、若いクラブ（創立19年、会員数52名、平均年齢59歳）特有の活気に満ちた活動ぶりに、感銘を覚えました。

社会奉仕活動の中核は「市民の森」事業であり、関連テーマ《水と環境》《環境保全のための現地検討会》《市民の森周辺整備（除草）》《将来ビジョンの検討》など「フォーラム」を企画しておられます。

森山勝ガバナー補佐の出身クラブであり、創立19年にしてRI会長賞を18年連続受賞という輝かしい歴史を築いておられるのはさすがと思いました。

会長・幹事懇談会では、喫緊のテーマが会員増強で、この問題に精力的に取り組む決意が示されました。

7/9 金

出雲南ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・前島智征随員幹事



クラブテーマ「ロータリーは地域とともに」を標榜し、社会奉仕・環境保全・青少年奉仕などに熱心に取組んでおられる、パワフルなクラブです。

その中核テーマが「高瀬川清掃奉仕」で、地元市民・ボーイスカウト・ボランティアグループと共同で清掃活動+水環境問題学習会を実施しておられます。

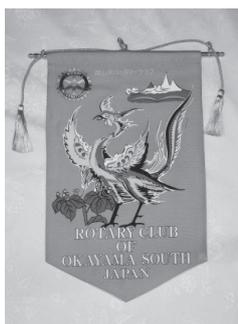
会長・幹事懇談会では、有能な女性陣の活

躍の様子や、過去10年平均で94.9%という驚嘆すべき出席率、そして喫緊のテーマが会員数の維持（増強）であることなどを伺いました。会員減による財政圧迫に緊縮支出策で対応したのが有効だったこと、余裕ある例会（12:30～13:30）運営のために「12:00からの食事タイム」を設けたりクラブサロン（例会後）を試行するなど、長い歴史（創立38周年）にもかかわらず、若々しい工夫を重ねておられる姿が印象的でした。

7/13 火

岡山南ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・前島智征随員幹事



地区最大規模（150人余）を誇る名門クラブですが、本年度、私どもは、地区研修リーダーとして延原正PG、ガバナー補佐として貴田茂元代表幹事のご指導を頂戴しております。

長期にわたる「RCC特別活動へのサポート」「ハーバード大学夏期研修生の継続的受入」、そしてマラウイ共和国への水支援活動の実施など、多彩かつエネルギッシュな活動ぶりには瞠目させられました。また1983年以降、RI会長賞を連続受賞しておられますが、本年度は25回目の受賞のみならず「特別賞」にもチャレ

ンジしたいとの意欲が佐藤会長から示されました。

とくに感嘆したのは《クラブ活動・運営計画書》の水準の高さで、「伝統を重視しつつもチャレンジの自由を尊重する」風土と、クラブの意識の高さが伺え、非常に勉強になりました。ユニークなのは、親睦活動委員会の副委員長3人制です。副委員長がそれぞれ「例会行事（スマイル、席割り、お祝い等）」「年間行事（家族旅行、親睦例会等）」「同好会（10種もの同好会がある）」を分担されていることから、クラブの「エンジョイ→進化」の方向性が伺えました。



ガバナー公式訪問だより

7/14 水

岡山ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・前島智征随員幹事



地区内の11クラブを設立し、地区の大半のクラブがその孫～曾孫になるという草分け的存在のクラブです。「公益信託岡山RC国際交流信託基金」や「ラオス家畜銀行の運営」などユニークな活動のほか、本年度は地区内他クラブと協同して旭川源流保護「土用ダム周辺への桜の植樹」に着手するなど、名門クラブの名に恥じない活動を展開しておられます。その伝統と品格は、丹羽会長が運営方針で

示された抱負―「岡山クラブの良さを大切に、今年1年原点に立ち返り次なる80年に向けて着実に一歩を踏み出したい」―に凝縮されていると拝察しました。

また《クラブ活動・運営計画書》には、「規定審議会における立法案の採択を承けて「定款・細則」の見直しに取組み」との記述があり、クラブの意識レベルだけでなく、そのリアクションの早さにも「さすが」の感を覚えました。

7/15 木

岡山東ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・前島智征随員幹事



2008-2009年度ガバナーホストクラブの重責を全うされ、一段と風格あるクラブとして存在感を発揮されていることに、敬意の念を覚えました。

会員増強について、「なおいっそうの質・品格向上」をはかりつつ、「純増5名」を実現したいとする西本会長の目標設定は、会員減少に悩む地区内各クラブのなかで異彩を放っております。

会長・幹事会では、出席率向上を重視すること、そのためにたとえば「メイクアップツアー」を実施する計画であり、「出席不良会員への思い切った対応も必要だ」との見解が示されました。

本年度の運営テーマは《感謝》です。その根底にあるのが「親睦重視」の文化であり、そうした伝統により培われた《強い団結力》《一致した行動力》がクラブの特徴となっている、との説明に説得力がありました。

7/16 金

津山ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・末吉随員幹事



1956年、岡山ロータリークラブをスポンサーとして設立、今年度54周年となります。その間には、美作RC、津山西RCなどの創立に寄与され、国際的にも台中扶輪社と姉妹縁組を締結されるなど活発に活動を続けておられます。

特筆すべきは、高い出席率であります。過去20年間の平均出席率が94.08パーセントであるとのことで、その秘訣を伺ったところ、ロータリー情報委員会が、3年未満の新入会員に対

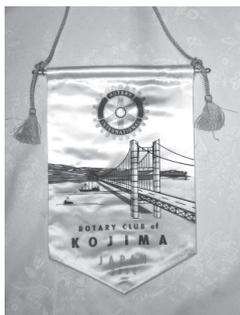
し親睦を兼ねてロータリー理解についての勉強会を開催しているとのことでした。会長は、「会員はクラブの一員に止まらず組織（地区）の一員としての自覚を高めるよう指導をしている。」と話しておられました。

今年度のクラブのスローガンは、「育てよう、広げよう、奉仕の心」で、奉仕活動が会員の喜びとなる充実した年度となるように努力したいとのことでありました。

7/20 火

児島ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・佐藤随員幹事



前年度に創立45周年を迎え、その間、1993-1994年度にはガバナーホストクラブを経験され、2006-2008年度には第2690地区から初めてRI理事として渡辺好政氏が就任されたクラブとしての伝統を強く感じました。国際大会にも毎年積極的に参加されています。

今年度は『すすんで参加しよう。』をクラブのスローガンとし、クラブ活性化のために、今年度を会員増強年間と位置づけ、目標は純増4

名であるが、それ以上の増強を目指す会長の強い意気込みを感じました。また若手の会員10名で増強のための会を立ち上げ、例会後に打ち合せを行う等クラブ全員で精力的に取り組む決意が示されました。

CLPの導入によりクラブ運営の効率化を図り、次年度は新地区補助金プログラムに必ず参加するよう準備を始めておられます。

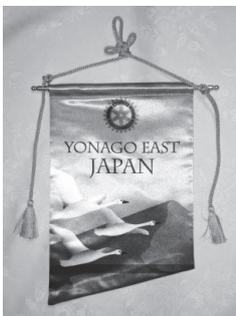
今年度は難波恭一郎氏に第7グループガバナー補佐として就任いただき、大変お世話になっております。

ガバナー公式訪問だより

7/21 水

米子東ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・伏見随行幹事



梅雨明けの35度を越える猛暑の中、列車は約20分遅れでJR米子駅に到着。そこからタクシーで例会場のホテルサンルート米子へ向うと、玄関前で役員の方々の温かい出迎えを受けました。

定刻の10分前から始められた会長幹事との懇談会では、井上会長よりクラブの概要、クラブ運営の基本方針及び重点目標について、丁寧な説明がありました。

特に「チャレンジ100」と銘打った会員増強プロジェクトは、井上会長が増強委員長であった2年前に3年計画の事業としてスタートし、今年度はその最後の年。女性会員も今の倍の10人くらいにはしたいとのことでした。また、会員の中には高校野球部のOBも多く、会員数の3割がクラブ野球部のメンバーという、いわゆる体育会系のクラブ。友好クラブとの交流や奉仕活動にも、極めて積極的に取組んでおられるようです。

7/22 木

総社ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・大内随行幹事



総社RCは、1972年に創立され、来年度が創立40周年となる歴史あるクラブであります。1987年にはスポンサークラブとして「総社吉備路RC」の創立に寄与されました。台湾・玉里RC（現在は終結）、大韓民国大田平和RCと姉妹縁組を締結し、RYLA・GSE・R財団国際親善奨学生プログラム等を通じ、国際交流にも熱心に取り組んでおられます。2000年には、総社市内の中学生を対象とした「英語スピーチ・コンテスト」を実施し、ま

た様々な市民活動にも長年にわたり支援を続けておられます。更に地元にある岡山県立大学との連携を図りながら、留学生との交流など、まさに地域に根ざした、地域を育む活動をつづけておられます。

左様なクラブでも、会員の増強は忽せにはできないことであり、全会員で前向きに取り組んでおられる様子が伺えました。「出席しなければならない例会」から「出席したくなる例会」といった目標に向け、今後も取り組まれますことを祈念いたします。

第1回諮問委員会

地区代表幹事 前島智征

2010-2011年度初めての諮問委員会が、2010年7月18日(日)岡山プラザホテルに於いて開催されました。今回の協議事項、報告は下記の通りでした。

《協議事項》

1. 規定審議会審議員について
2. 職業研修チーム(VTT)について

《報告事項》

1. 会員増強・ロータリー財団合同セミナーについて
2. 2010-2011年度 第2690地区組織図について
3. 新地区補助金、グローバル補助金について
4. ロータリー財団功労表彰について
5. RI会長代理 第2780地区PDG 横須賀RC 小沢一彦氏に決定
6. 地区大会について
7. 地区大会 各種委員会(案)について
8. クラブロータリー財団委員長の任期について

9. 事務所経費の按分について
10. 行事予定表
11. 地区ホームページについて
12. その他

《伊藤ガバナー・エレクト事務所より》

【報告事項】

1. 次期地区研修リーダーの選出について
2. 2011-2012年度 第2690地区委員会組織図(案)について
3. ガバナー・エレクト事務所主催の行事予定表(案)
4. 2011-2012年度 VTT(職業研修チーム)について
5. 2011-2012年度 新地区補助金スケジュール(案)について

地区だより(2010年7月)①

● 新会員ご紹介



● ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・フェロー



ベネファクター



ポリオ・プラスへの寄付



※この他のクラブ寄付・個人寄付については、PDF版をごらんください。

地区だより(2010年7月)①

● 米山記念奨学会への寄付

米 山 功 労 者



牧浦繁雄
(鳥取北RC)



高見佳久
(総社吉備路RC)



白髪克也
(倉敷南RC)



岡本英佑
(美作RC)



真邊和美
(岡山南RC)



佐藤芳郎
(岡山南RC)



大和豊子
(岡山南RC)

※この他のクラブ寄付・個人寄付については、PDF版をごらんください。

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



古瀬 禦 名誉会員 (松江東RC)
2010年7月27日ご逝去 (享年96歳)
1987年4月7日入会
正会員13年
名誉会員10年



藤井 弘 会員 (大社RC)
2010年7月19日ご逝去 (享年69歳)
1983年3月入会
藤井小児科医院 院長 小児科医
1996-97年度 会長、理事・委員長を歴任
ポール・ハリス・フェロー 2回、米山功労者 3回



中村喜一郎 名誉会員 (新見RC)
2010年7月24日ご逝去 (享年93歳)
1985年10月入会
(有)中村商事 代表取締役会長 文具機器卸
1987-88年度 幹事
1989-90年度 会長



藤井豊恒 名誉会員 (新見RC)
2010年7月27日ご逝去 (享年87歳)
1980年11月入会
1983-86年度 幹事
1986-87年度 会長
1994-95年度 第3分区代理

2010-2011年度 国際ロータリー第2690地区

地 区 資 金 予 算

◎収入の部

(金額単位：千円)

科 目	2009-2010年度	2010-2011年度	摘 要
前年度繰越金	0	0	
地 区 資 金	34,000	33,000	10,000円×3,300名
雑 収 入	0	0	
合 計	34,000	33,000	

◎支出の部

(金額単位：千円)

科 目	2009-2010年度	2010-2011年度	摘 要
PETS・地区協議会費	1,800	1,800	エレクト事務所へ送金
地 区 大 会 費	3,000	2,800	
国際協議会関係費	1,500	1,500	エレクト事務所へ送金
ガバナー連絡会	2,000	2,000	
ガバナー補佐経費	1,400	1,400	50,000円×11名、交通費実費
インターシティミーティング	1,100	1,100	100,000円×11グループ、会議費
各種委員会費	8,000	7,500	
事務所関係費	12,800	12,500	
ガバナー事務所補助費	2,000	2,000	エレクト事務所へ送金
予 備 費	400	400	
合 計	34,000	33,000	

◎特別会計収入(年間)

(金額単位：千円)

科 目	2009-2010年度			2010-2011年度			摘 要
	一人当(円)	会員数(名)	収入金額(千円)	一人当(円)	会員数(名)	収入金額(千円)	
日本ロータリー連絡委員会分担金	500	3,400	1,700	500	3,300	1,650	
国際青少年交換資金	1,600	3,400	5,440	1,600	3,300	5,280	
新世代活動資金	2,600	3,400	8,840	1,800	3,300	5,940	
世界社会奉仕資金	1,000	3,400	3,400	1,000	3,300	3,300	
職業研修チーム資金	1,500	3,400	5,100	1,500	3,300	4,950	
ガバナー月信購読料	2,000	3,266	6,532	1,500	3,166	4,749	
地区大会分担金	5,000	3,400	17,000	5,000	3,300	16,500	
規定審議会出席積立金	100	3,400	340	100	3,300	330	
ポリオ・プラス協力金	1,500	3,400	5,100	1,500	3,300	4,950	
地区R財団事務所資金				1,300	3,300	4,290	
合 計	15,800		53,452	15,800		51,939	

出席報告(2010年7月)

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	7月末	内女性 会 員	増減
智 頭	73.88	63.78	4	15	14	0	-1
倉 吉	93.78	78.03	4	55	55	2	0
倉吉中央	88.04	73.91	4	21	23	1	2
倉吉東	96.81	71.81	5	43	45	2	2
鳥 取	100.00	76.80	5	57	58	2	1
鳥取中央	83.33	78.99	3	46	46	0	0
鳥取北	84.99	81.49	4	54	54	7	0
鳥取西	89.64	80.36	5	57	57	0	0
計(8)	88.81	75.65	/	348	352	14	4
境 港	76.75	62.79	4	44	44	0	0
米 子	86.38	60.06	5	67	67	2	0
米子中央	86.75	79.21	5	31	32	1	1
米子東	74.35	66.10	4	74	75	4	1
米子南	92.20	70.92	3	50	50	1	0
計(5)	83.29	67.82	/	266	268	8	2
松 江	91.72	77.48	4	69	70	0	1
松江東	91.26	82.50	4	58	58	0	0
松江南	89.08	82.08	3	69	70	4	1
松江しんじ湖	94.59	84.19	4	60	62	9	2
隠岐西郷	84.47	65.41	4	30	30	0	0
計(5)	90.22	78.33	/	286	290	13	4
平 田	86.81	83.78	5	37	38	1	1
出 雲	83.12	78.56	3	53	55	1	2
出雲中央	82.64	75.69	3	48	48	3	0
出雲南	97.84	87.50	4	59	59	6	0
大 社	85.48	79.68	4	43	42	0	-1
計(5)	87.18	81.04	/	240	242	11	2
江 津	75.96	71.15	4	26	26	0	0
浜 田	89.39	80.20	5	55	55	0	0
益 田	98.46	86.15	5	26	26	4	0
益田西	84.38	63.28	4	32	32	1	0
大 田	91.62	82.89	5	27	27	3	0
計(5)	87.96	76.73	/	166	166	8	0
井 原	79.07	65.70	4	45	45	1	0
笠 岡	95.03	86.67	4	50	50	0	0
笠岡東	93.51	85.41	5	37	37	1	0
新 見	88.89	78.89	5	18	18	2	0
総 社	80.09	78.75	5	42	42	6	0
総社吉備路	94.98	92.79	4	36	36	3	0
高 梁	84.95	76.25	4	44	44	3	0
玉 島	73.94	66.29	4	29	30	1	1
計(8)	86.31	78.84	/	301	302	17	1

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	7月末	内女性 会 員	増減
児 島	83.22	70.60	4	30	30	0	0
児島東	90.67	85.33	3	26	26	0	0
倉 敷	98.13	84.71	5	78	78	0	0
倉敷中央	70.18	68.42	3	19	19	3	0
倉敷東	88.62	79.67	3	43	43	3	0
倉敷南	100.00	78.85	5	56	65	5	9
倉敷水島	72.34	66.21	4	34	34	0	0
倉敷瀬戸内	90.54	72.67	4	37	37	2	0
計(8)	86.71	75.81	/	323	332	13	9
真 庭	95.02	87.22	4	36	35	0	-1
美 作	92.25	91.55	4	38	38	1	0
津 山	76.94	68.71	5	87	87	3	0
津山中央	80.00	78.40	5	26	26	2	0
津山西	93.60	84.82	4	34	34	4	0
計(5)	87.56	82.14	/	221	220	10	-1
赤 磐	80.88	73.53	4	20	20	0	0
備 前	87.50	82.06	5	40	40	2	0
岡 山	85.15	67.34	4	111	113	0	2
岡山東	90.93	85.03	5	84	85	0	1
岡山北西	87.94	84.40	3	47	47	4	0
岡山後楽園	87.12	75.42	5	50	52	0	2
計(6)	86.59	77.96	/	352	357	6	5
岡山旭川	87.50	84.17	4	30	30	3	0
岡山中央	89.00	76.81	4	44	45	5	1
岡山北	75.93	70.37	4	53	54	0	1
岡山南	80.78	73.95	4	150	154	12	4
玉 野	82.43	78.79	5	33	33	0	0
牛 窓	70.83	66.67	3	8	8	0	0
計(6)	81.08	75.13	/	318	324	20	6
岡山備南	76.85	76.85	4	35	35	4	0
岡 山 城	95.38	86.10	4	31	33	5	2
岡山岡南	85.71	77.68	4	26	29	2	3
岡山丸の内	84.92	76.63	4	33	34	3	1
岡 山 西	88.36	74.66	2	77	77	4	0
岡山西南	90.36	81.58	5	69	71	2	2
計(6)	86.93	78.92	/	271	279	20	8

地区クラブ内の状況

クラブ数	67RC	
7月1日現在会員数	3,092名	
7月末日会員数	3,132名	
内 女性会員数	140名	
純増	40名	
7月出席率	Make-up後	86.62%
	ホームクラブ	77.09%

国際ロータリー 第2690地区
2010-2011年度
地区スローガン



国際ロータリー第2690地区 2010-2011年度 ガバナー
小林 完治

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館2F
TEL.086-221-2690 FAX.086-221-2691
E-mail : kobayashi2690@mild.ocn.ne.jp